

# 九重火山からの二酸化イオウの放出量 (1995年10月)\*

## Emission rate of SO<sub>2</sub> at Kuju Volcano in October, 1995

九州大学理学部附属島原地震火山観測所  
Kyushu Univ.

島原地震火山観測所では、1995年10月11日の九重火山の噴火以降、同火山硫黄山周辺からの二酸化イオウの放出量をCOSPECを用いた遠隔測定により計測している。10月13日、15日、および23日の計3回の測定を行ったが、方法はいずれも噴煙下をCOSPECを搭載した観測車で横切って測定する Traverse 法である。

測定結果を第1表および第1図に示す。今回の噴火以前のデータとして、1977年と1979年に鎌田・太田と江原他による測定があるので、それらの結果も併せて表示してある。測定方法等が異なるので噴火前後の測定値の比較には注意が必要であるが、噴火以後SO<sub>2</sub>放出量がおよそ1桁増加したことが推定できる。また、1977年と1979年の測定値は硫黄山からの放出量であるが、今回の値は硫黄山と新火山群からの放出量の合計値である。噴火以降も硫黄山噴気の活発化は報告されていないので、噴火後のSO<sub>2</sub>放出量の増大は新火山群の形成に伴うものであると考えられる。

### 参 考 文 献

- 1) 鎌田政明・太田一也(1977): 桜島火山南岳からのSO<sub>2</sub>放出量. 第2回桜島火山の集中総合観測報告書, 98-104.
- 2) 江原幸雄・湯原浩三・野田徹郎(1981): 九重硫黄山からの放熱量・噴出水量・火山ガス放出量とそれから推定される熱水系と火山ガスの起源. 火山, 26, 35-56.

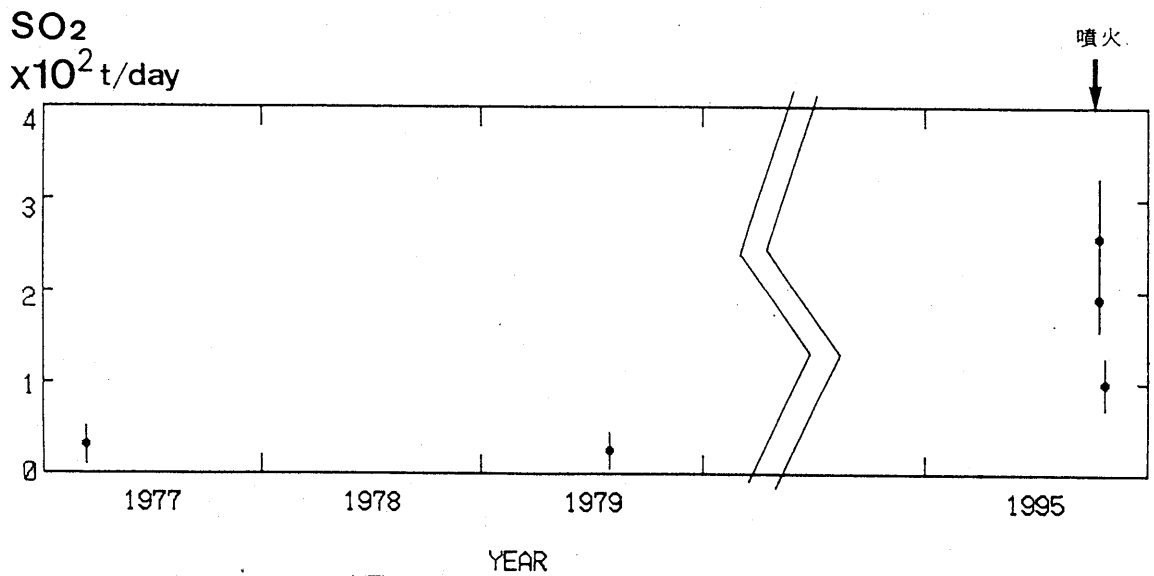
---

\* Received 28 Dec., 1995

第 1 表 二酸化イオウ放出量測定値  
Table 1 Measurement of SO<sub>2</sub> emission at Kuju Volcano

測定日	測定回数	放出量	放出量平均値	標準偏差	測定方法	備考
1977/3/14		11~53t/day			C P	鎌田・太田
1979/7		6~57	26t/day		成分比	江原他
1995/10/13	10	143~266	192	34	C T	
1995/10/15	6	165~345	261	64	C T	
1995/10/23	4	61~139	100	28	C T	

注) C P : COSPEC(PANNING)  
C T : COSPEC(TRAVERSE)



Traverse法による二酸化イオウ  
積算濃度測定ルート

第 1 図 九重火山における二酸化イオウ放出量の推移  
Fig. 1 Variation of SO<sub>2</sub> emission rate at Kuju Volcano